

川崎市議会議員 いわくま ちひろ

学校ブロック塀の撤去は速やかに行うべき

みらい川崎市議団
連載No.108

6月中旬に発生した大阪北部地震で、児童が学校ブロック塀の倒壊により死亡したことを受け、私が所属する市議会文教委員会で教育委員会より学校ブロック塀等の現地調査結果について報告がありました。

報告によると、現行の建築基準法の仕様に適合しない疑いのあるブロック塀等を有する学校は24校あり、その内小学校が21校、中学校が3校となっています。とりわけ、大阪北部地震で倒壊したブロック塀と設置状況が類似する梶ヶ谷小学校と南河原小学校では、児童に対しては水泳学習を中止するなど対応しているとのことでした。しか

し、一般の通行者に対しては、梶ヶ谷小学校を調査したところ、現状ではカラーコーンを設置し注意を促すのみの対応となっています。委員会で、大阪北部地震からすでに約2か月経過しているが撤去はい

つかから実施するのか？と質疑しましたが、当局からは設計と契約（入札に係る事務を考えると、工事着手は概ね12月から来年1月になるのではないかと）という答弁でした。

学校の外壁は、外部からの不審者等の侵入を防ぐといった目的もありますが、その存在が、子どもたちや通行者の生命を脅かしてはいけません。教育委員会、ならびに関係各局が1日でも早くブロック塀撤去に着手できるように求めたいです。

半年間も現状のままという状況は看過できません。対応が遅いと

震からの教訓は、まさか学校ブロック塀が倒壊し児童が犠牲になるなど誰も予測していません。大阪北部地

地震はいつ発生するか分かりませんが、危機管理の観点からも、より迅速に撤去にあたるべきでしょう。委員会では、緊急的な予算措置として議会の議決を経ずに予算を支出する予備費での対応や、次の議会で補正予算を組み迅速に対応することなどを提案しました。



川崎市議会議員 いわくま ちひろ

- 昭和50年生まれ 43歳
- 英国国立ウェールズ大学卒業 ロンドン大学大学院研究生 専門は国際政治学
- 国際派議員として、子どもから大人まで英語学とキャリア教育を教える。毎週日曜日は、イトーヨーカドー溝口店前で市政報告を継続中！(11年10ヶ月)

震からの教訓は、まさか学校ブロック塀が倒壊し児童が犠牲になるなど誰も予測していません。大阪北部地



現在の梶ヶ谷小学校の様子(8月中旬)。本当にこれで安全対策といえるのでしょうか。早急な撤去を求めます。